

2019年3月27日

課題名：乳癌補助化学療法におけるサルコペニアと血液検査上の有害事象の関連

◆研究の目的と概要◆

当院では、乳癌補助化学療法におけるサルコペニア（筋肉量の減少）と有害事象（副作用）の関連を調べることによって、有害事象の発症リスクを事前に予測する手段を確立することを目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2013年1月から、2017年4月までの間に、乳癌の補助化学療法としてEC（エピルビシン+シクロフォスファミド）療法またはTC（ドセタキセル+シクロフォスファミド）療法を受けた女性の方。

◆研究に使用される情報・試料◆

化学療法施行時の年齢、身長、体重、BMI、併存疾患、PS(全身状態)、化学療法の投与量
CT画像データ（骨格筋や内臓脂肪、皮下脂肪の断面積）
血液検査上の有害事象の有無や程度

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）、CT画像データの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

外科 研究責任者 山口 和盛

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明